



明けましておめでとうございます

淡路ふくろうの郷から初日の出を拝む

# ふくろう新聞

<発行>  
 特別養護老人ホーム  
 淡路ふくろうの郷  
 広報委員会  
 洲本市中川原町  
 中川原28番地1  
 TEL:0799-25-8550  
 FAX:0799-25-8551  
 ホームページ  
<http://www.normanet.ne.jp/~hyoufuku/>

新春の1月3日、入居者、淡路聴力障害者協会、手話サークル会員総勢15名で先山、千光寺にお参りし、1年間健康に暮らせるという言葉のあるお餅を焼き、いただきました。法人としても今年の漢字を「結」と決め、地域、県、全国の支援くださる方々との結びつきを更に深め、新たな事業推進に向け、全員一丸健康に気をつけ頑張ります。

## 確かな地域共生へ

ひようご聴覚障害者福祉事業協会  
 理事長 白水 祥文



新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えの事と、心からおよろこび申し上げます。

昨年は淡路ふくろうの郷の設立5周年の節目の年として、入居の皆さまにとっても法人職員としても、施設愛を新たにしたところです。あつと言う間の5年間でした。ところで「開所5周年記念誌」を読んでいただけましたか。

記念誌表紙にある百歳近い入居者の表情は「ふくろうの郷」入居者の代表笑顔です。

そして大矢施設長の「発刊にあたって」を読めば淡路ふくろうの郷が5年間でいかに入居

者からいろんなことを学べたか、われわれはその思いを受け止め、「人権と共生」についてどう社会に発信し、学びを還元していかなければならないか気持ち新たにしたいところです。そして第三部「一筆啓上」では淡路島内の皆様・兵庫の仲間たち・先輩施設の京都の仲間や他府県から、それぞれの立場からの投稿をいただいており、淡路ふくろうの郷の絆の強さを改めて感じています。こうした人の輪が今年中川原地域でとりかかろうとする地域共生の事業への確かな礎ともなると確信しています。そして次の十周年への力強い出発の年となるよう祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



## よく働き、遊び、よく学んで



▲今年の目標は「生」。入居者ひとりひとりの思いを見事に書かれた北風さん

入居者自治会会長 北風 章子

みなさん、あけましておめでとうございます。お正月は恒例の互礼会で甘酒で乾杯したあと、おいしいお節を頂き、厳島神社への初詣もしました。

今年もみんなよく働き、よく遊び、よく学び、元気に一年過ごせるよう願っています。また介護保険の改正で、入所者の自己負担額が上がる心配もあると聞きました。自治会としても職員と一緒に勉強し、暮らしやすいふくろうの郷を共に作っていききたいです。

### 「辰」の年男・年女、今年の願い

元気に1年をすごしたい。

大好きなにぎり寿司をいっぱい食べたい。

龍のように自由に日本中を飛び歩きたい。ふくろうの郷の周りに果樹や花をもっと増やしてほしい。

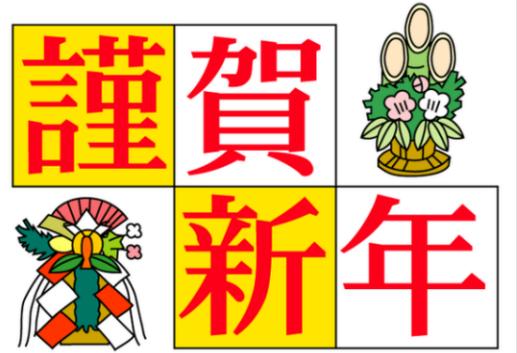
岩瀬幾次郎さん(84) 昭和3年 11月21日生まれ



吉田みさ子さん(84) 昭和3年 3月30日生まれ



藤本紀代さん(72) 昭和15年 11月8日生まれ



初詣



▲先山で無病息災を願い、餅を焼いて食べました



敵島(つくしま神社にて)渡邊雄さん



伊井諾いさなぎ神宮にて



▲仲良く花房夫婦



ふくろうの郷からは30名の参加

淡聴協新年会



▲お節を前にボランティアのみなさんと



▲きれいに盛り付けられたおせち

おせち



「みんなの部屋に飾るんだ」と志田さん



「上手に丸められたよ」と井上さん



▲餅つきを楽しむ先山さん

しめ縄作りと餅つき



ユニットごとに鍋料理



▲「今年も元気にがんばろう!」と、甘酒で乾杯

互礼会



中川原地域の方に作って頂きました



門松作り

龍が天に昇るようにふくろうの郷の発展を願い、地域交流会会長北岡肇さんは「昇」の字を書かれました。

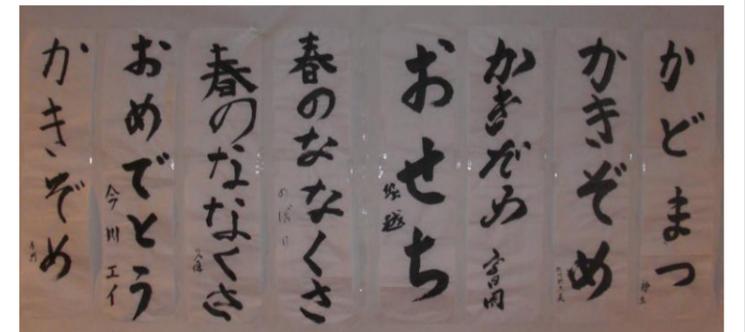


更なる強い結びつきを願い、笹津寛照住職に「結」を書いて頂きました。

今年の漢字は「結」



▲みんなて「書き初め」神さん94歳(左)辛島さん88歳(右)



# 続・地域を語る

## 第37回

さんばそう じうたい

### 二番叟の地謡

(12目まで併せてお読みください)

とうとうたりたり たりりら

ちりやたりり たりりら

所千世までおわしませ

たりり我等も千秋さふらわん

鶴と亀との齡(よわい)にて

幸い心に任せたり

おおとうとうたりり たりりら

ちりやたりり たりりら

鳴るは滝の水 日は照るども

たえずとうたりありうどつどつどつ

たえずとうたりありうどつどつどつ

たえずとうたりありうどつどつどつ

君の千歳をへんことは

天津乙女の羽衣よ

鳴るは滝の水 日は照るども

たえずとうたりありうどつどつどつ

あげまきやとんどうや

ひろばかりやとんどうや

座して居たれども

まいらうれんげりやとんどうや

千早振る神のひこきの昔より

ひさしかれとぞ祝

そよやりちやとんどうや

凡千年(せんねん)の鶴は万歳樂と諷(う)

とうたり

また万代(ばんだいの)の池の亀は甲に三曲

を戴したり

滝の水麗々と落ちて夜の月  
あさやかに浮んだり渚(なぎさ)の砂(い  
さ)さささとしてあしたの日の色をろう  
す

す

天下泰平長久満息災延命

今日の御祈禱なり

ありわらやなしよ其翁(じよん)ども

あれはなまじの翁共

そやいづくの翁(じよん)とうとうそよや

千秋万歳悦びの舞なれや

一舞まおう万歳樂

万歳樂 万歳樂 万歳樂

おさえおさえおさえおさえ悦びありや

我(わが)こよりも外(ほか)へやらしとぞ思(おも)う

ああら目出度(めいであ)や後の太夫殿(たふどの)にげんきう

申(まを)す

ちようどと参(まゐ)つて候

誰(たれ)だがお立候(たてまゐ)ぞ

後(ご)とおおせ候(まゐ)ほどが

ものに心得(こころえ)である御身(ごみ)

後の役目(やくめ)にまかり立つて候

「されば候(まゐ)めでたき御祝儀(ごしゆぎ)なれば

所(ところ)も千秋万歳(せんねん)と舞(ま)つてお入り候(まゐ)え

色の黒(くろ)き劇殿(げくどの) 仰(おほ)せの如(ごと)く色の

墨(すみ)き三番叟(さんばんそう) 天下泰平(てんかたいへい)を舞(ま)い納(な)めんと

何(なに)より以て安(やす)うぞう(う) されば候(まゐ)

また後の太夫殿(たふどの)には 二元(にげん)の座(ま)に御直(ごちか)

あつて

この尉(ゑい)が舞(ま)の手(て)を一(ひと)さしはやし候(まゐ)え後の

太夫殿(たふどの)

仰(おほ)の如(ごと)く後の太夫殿(たふどの)に直(ちか)り尉(ゑい)の舞(ま)の手(て)

を

唯(ただ)は(は)さん(さん)と何(なに)より以て安(やす)候(まゐ)

ほうを先(ま)は尉(ゑい)の舞(ま)の手(て)を見(み)申し其(その)後(ご)

座(ざ)になおつうずにて候(まゐ)ますますおな  
おり候(まゐ)え  
ますます御舞(ごまゐ)候(まゐ)え おなおり無(な)くては  
無(な)候(まゐ)え  
さあらば御舞(ごまゐ)候(まゐ)え  
之(これ)より目出度(めいであ)き鈴(すず)をまいらそう  
ああらようがましや候(まゐ)な(な)た(な)そ……  
こなたそ

有(あ)難(がた)のよう(よう)や有(あ)難(がた)のよう(よう)や

月(つき)住(す)吉(きち)の神遊(かみあそ)びみかげをおがむ新(あらた)さ

よ

げにさま(さま)さまの舞(ま)姫(ひめ)の 声(こゑ)もすぐなる

住(す)のえの

松(まつ)かげうつるなる せい(せい)かいわ(わ)とはこれ

あらん

神(かみ)と君(きみ)との道(みち)すぐ(すぐ)に都(みやこ)の春(はる)に行(い)くへきは

これ(これ)でげん(げん)し(し)ょう(しょう)らく(らく)の舞(ま)

さては万歳(まんざい)にはお(お)お(お)み(み)衣(い)

さすが(さすが)ひ(ひ)な(な)には悪魔(あくま)を(を)は(は)らい(らい) お(お)さ(さ)ま

る手(て)には

寿福(じゆふく)を(を)いた(いた)た(た)き 千(せん)秋(しゆ)万(まん)歳(ざい)は(は)民(たみ)を(を)な(な)で

千(せん)歳(ざい)には命(いのち)を(を)の(の)ぶ

相(あ)互(たが)ひ(ひ)の松(まつ)風(かぜ)さ(さ)あ(あ)さ(さ)つ(つ)の(の)声(こゑ)た(た)の(の)し(し)む

さあ(さあ)さ(さ)つ(つ)の(の)声(こゑ)た(た)の(の)し(し)む

「淡路(淡路)人形(人形)芝居(芝居) 新(新)算(算)實(實)況(況)著(著) 上(上)り

市(市)村(村)六(六)之(之)巫(巫)

巫(巫)之(之)六(六)村(村)市(市)



## 入居者の人生から学ぶ



次に入居者の皆さんがそれぞ  
れ歩んでこられた人生やふくろ  
うの郷での生活についてお話し  
てくださいました。壮絶な過去  
の経験を持ちながらも今はふ  
くろうの郷で穏やかに暮らされ  
ている様子が伺え、改めて人と  
して生きる権利について考える  
良い機会になりました。

参加したメンバーからも「さま  
ざまな経験や苦勞をされてき  
た入居者の方々のお話をお聞  
きし、私たちサークルはその中  
から何を学び取り、今後の学  
習や活動にどうつなげていく  
か、ぜひ皆で話し合いたい」とい  
う声が寄せられました。  
(手話サークル津名・竹内まり子

12月2日(金)、淡路ふくろ  
うの郷にて手話サークル津名  
主催の講演会を開催しまし  
た。淡路聴力障害者協会や手  
話サークル三原の皆さんにも  
ご参加いただき、地域交流ス  
ペースがいっぱいになりました。  
5周年記念誌について、作成  
するにあたっての想いや記念誌  
に込められた願いがよくわか  
り、より多くの人の手に届いて  
ほしいと感じました。

## 淡路ふくろうの郷 開所5周年記念誌

頒価 2,000円

ホームページで  
感想文掲載中！  
どうぞご覧下さい。

## ふくろう学習会のお知らせ

### テーマ:福祉の仕事と

### メンタルヘルス(仮)

健康で働くためにも、体の変  
化・対処法を学びましょう。

日時: 2月19日(日)

13:30~16:00

場所: 地域交流スペース

講師: 重田博正氏

(大阪社会医学研究所)

資料代 500円

## ふくろう喫茶と カクテルバーのお知らせ

### ■カクテルバー

日時: 2月2日(木)

13:30~16:30

### ■喫茶

日時: 2月19日(日)

13:30~15:00

お待ちしております

